実施内容	硝子体手術中のケナコルト-A 筋注用 関節腔内用を用いた硝子体の可視化
対象者	当院で硝子体手術を受けられる患者
承認期間	2023年7月6日～マキュエイド®が安定供給されるまで
概要	<p>【目的・方法】</p> <p>ケナコルト-Aの成分であるトリアムシノロンアセトニドはステロイド剤の1種ですが、細かい粉末状であり、それを硝子体手術中、眼内の透明な組織である硝子体に吹きかけて使用することで手術の効率・安全性を向上させます。(ステロイドの効能を期待した使用ではありません。)</p> <p>本来は、硝子体の可視化の目的に「マキュエイド®眼注用40mg」を使用しますが、製品が出荷停止となっているため、「マキュエイド®眼注用40mg」の発売以前に使用されていた「ケナコルト-A®筋注用関節腔内用水懸注40mg/1mL」を代替使用します。</p> <p>投与方法：この製品は、溶媒中にトリアムシノロンアセトニドが保存されており、手術で利用する際には、その溶媒を破棄してトリアムシノロンアセトニドの成分のみを抽出し、それを手術用灌流液で希釈して利用します。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無菌性眼内炎：手術使用後の0.1%に発症するおそれがありますが、投薬治療で改善します。 ・眼圧上昇：手術終了時に回収した場合はほとんど生じません。頻度は不明ですが、生じた場合は眼圧下降点眼薬による治療を行います。
お問い合わせ先	東海大学医学部附属病院 眼科 代表：0463-93-1121

2024年 5月 21日 作成